

開講年度・学期	2017年度・後期	授業形態	講義
科目名	公共政策論	科目ナンバー	JAPOL2209
英語表記	Public Policy Studies	担当教員	上川 龍之進
単位数	4		

科目の主題

戦後日本において、公共政策がどのようにして決定されてきたのか、また実施されてきた公共政策の内容にはどのような特徴があったのかを、政治学の観点から説明する。

授業の到達目標

学生が、戦後日本における公共政策の決定過程およびその政策内容の特徴について理解し、説明できるようにする。

授業内容・授業計画

講義の前半では公共政策を分析するための理論・モデルを紹介する。後半では、戦後日本における政策決定方式を大まかに説明し、それから各政策の決定過程およびその政策内容の特徴について説明していく。

第1回	社会科学の方法①記述的推論と因果的推論
第2回	社会科学の方法②比較の方法
第3回	政府と市場①市場の失敗
第4回	政府と市場②政府の失敗
第5回	政策決定と合理性
第6回	政策決定と利益①グループ理論・集合行為論
第7回	政策決定と利益②多元主義論
第8回	政策決定と利益③権力
第9回	課題設定過程・ゴミ缶モデル
第10回	政策決定と制度①コーポラティズム論
第11回	政策決定と制度②国家論・歴史的制度論
第12回	政策決定と制度③合理的選択制度論
第13回	政策決定とアイデア①テクノクラシー論
第14回	政策決定とアイデア②アイデア・アプローチ
第15回	日本における政策決定①エリート論的説明
第16回	日本における政策決定②多元主義論的説明
第17回	日本における政策決定③圧力団体研究
第18回	日本における政策決定④国会研究
第19回	日本における政策決定⑤統治機構改革
第20回	産業政策①産業政策論争

第 21 回	産業政策②産業金融
第 22 回	産業政策③経済発展と国家の役割
第 23 回	予算編成①均衡財政と大蔵省
第 24 回	予算編成②財政赤字と大蔵省
第 25 回	予算編成③予算編成過程の変化
第 26 回	租税政策①比較税制研究・戦後日本の税制
第 27 回	租税政策②租税政策の決定過程
第 28 回	福祉政策
第 29 回	まとめ①理論・モデルのまとめ
第 30 回	まとめ②政策決定過程・政策内容のまとめ

事前・事後学習の内容

授業終了後、講義の内容について復習しておく。余力があれば、講義で挙げた文献を読んでおく。

評価方法

期末試験による。

受講生へのコメント

新聞は毎日読むようにしてください。

教材

教科書は使用しないが、講義の内容は、以下の概説的なテキストに依拠するところが大きいので、これらを適宜、参考にされたい。

伊藤光利・田中愛治・真淵勝『政治過程論』有斐閣(2000年)

久米郁男・川出良枝・古城佳子・田中愛治・真淵勝『政治学 補訂版』有斐閣(2011年)

(ただし、上記2冊は重複する部分が多いので、購入の際には注意すること)

秋吉貴雄・伊藤修一郎・北山俊哉『公共政策学の基礎 新版』有斐閣(2015年)

久米郁男・河野勝『改訂新版 現代日本の政治』日本放送出版協会(2011年)

参考文献については、適宜、指示する。

なお、政治学の基本的な考え方や基本事項について、あまり理解できていない者は、北山俊哉・真淵勝・久米郁男『はじめて出会う政治学(第3版)：構造改革の向こうに』有斐閣(2009年)、伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め(第3版)』有斐閣(2009年)をあらかじめ読んでおくことを薦める。また、戦後日本の政治史について、受講生にある程度の知識があることを前提として講義を進めるため、知識が不十分な者は、石川真澄・山口二郎『戦後政治史 第三版』岩波書店(2010年)のような概説書をあらかじめ読んでおくことが望まれる。

その他

履修可能最低年次

2年次生以上